2026年度 浅野工学専門学校

建築工学科

対象	3	年次	開講期	通年	区分	必修	種別	講義	時間数	64	単位	4
科目名	建築意匠						担当者	赤澤加奈子				

授業概要

多くの建築物や建築家の建築・都市デザインにおける設計思想・手法・技術の多面的・重層的理解を通して、設計の基礎となる創造的発想力を養う。建築意匠の世界的な展開の上に、近現代の日本の建築のながれ及び特徴的な建築物・建築家の実践事例について解説する。さらに工学的アプローチより景観および都市デザインの基礎知識と実践事例について解説する。

到達目標

多くの建築物や建築家の建築・都市デザインについて多面的・重層的理解に理解できるようになる。設計の基礎となる創造的発想力を深める。

授業方法

毎回のテーマについてまとめたスライドを講義形式で解説する。より理解しやすい資料を配布し、適宜、画像や映像資料を用いて分かりやすく解説する。

成績評価方法

出席状況40%　中間試験25%　期末試験25%　授業内レポート課題10%

履修上の注意

配布資料は、毎回配布されます。講義中の板書やメモを配布資料に追記し、自己で復習する際に分かりやすいようにしましょう。

教科書

テキスト建築意匠（学芸出版社／大窪健之・藤木庸介・松本裕・山本直彦）

参考書

関連科目

建築史

回数		授業計画
第1回	内容	近代の建築
	細目	**近代化の諸条件、社会の変容**
第2回	内容	近代の建築
	細目	ビルディング・タイプの変化と新しい材料・技術 原型の模索と様式の相対化
第3回	内容	アーツアンドクラフツ、アール・ヌーヴォー
	細目	中世モデルと生産・デザインの調和、様式からの離脱過程

第4回	内容	ヴァーグナーとロース
	細目	表層の自立と装飾の排除
第5回	内容	シカゴ派と高層建築
	細目	均質空間への道程
第6回	内容	ドイツ工作連盟
	細目	アーツアンドクラフツから近代への接続
第7回	内容	未来派、ロシア構成主義
	細目	前衛運動と近代建築の模索、革命と建築
第8回	内容	中間試験
	細目	
第9回	内容	学外見学会
	細目	
第10回	内容	デ・ステイル、バウハウス
	細目	抽象への意思、国際建築へ
第11回	内容	表現主義
	細目	近代と個人の表現
第12回	内容	フランク・ロイド・ライト
	細目	フローイング・スペースと有機的建築
第13回	内容	ル・コルジュジエ
	細目	近代建築の5原則と彫塑性への転換
第14回	内容	ミース・ファン・デル・ローエ
	細目	ユニバーサル・スペースへの還元的展開
第15回	内容	近代建築の成熟とその展開
	細目	近代建築の思考形態と意匠
第16回	内容	期末試験
	細目	

回数	授業計画	
第16回	内容	カリフォルニア・モダン、イタリア合理主義
	細目	普遍性と地域性の呼応、近代の古典主義への近接
第17回	内容	北欧経験主義
	細目	経験主義と近代
第18回	内容	現代の建築
	細目	近代建築への批評と批判、現代建築の視座
第19回	内容	歴史主義
	細目	ロバート・ヴェンチューリと建築の意味性、歴史主義の様々な試行
第20回	内容	合理主義
	細目	合理としてのタイプ、アルド・ロッシの類推的都市、合理主義の展開
第21回	内容	構造主義
	細目	西洋の外への視点、ヘルツベルハーと都市・建築空間の領域化、構造主義の建築
第22回	内容	場所、批判的地域主義、構造・技術
	細目	空間から場、批判的地域主義の展開、構造表現主義の建築
第23回	内容	学外見学会
	細目	
第24回	内容	中間試験
	細目	
第25回	内容	建築から環境へ、建築の解体、脱構築の建築
	細目	ハイテック、「建築」の解体から脱構築、チュミとコールハース
第26回	内容	戦後近代建築と日本、メタボリズムと未来都市
	細目	テクニカル・アプローチ、伝統論争、都市への進出
第27回	内容	近代建築の解体、1980年代
	細目	近代建築批判・テクノロジー批判、都市からの撤退・郊外、手法論から建築の修辞へ、表層と記号、機能から様相へ
第28回	内容	1990年代以降
	細目	ランドスケープと公共性、ライト・コンストラクション、建築とプログラム
第29回	内容	工学的景観論
	細目	建築分野における景観への関心、景観の種類、景観把握モデル、景観デザインと都市デザインの接点
第30回	内容	都市空間デザイン論
	細目	都市景観の分析と評価（視覚的・身体感覚的・意味的）、画期的・代表的な都市デザインの実践
第31回	内容	期末試験
	細目	